かたの市議会だより

第176号
平成27年5/1

議会ニュース

平成27年度の予算決まる

一般会計・5特別会計・水道事業会計の各予算を可決

議会映像配信システム導入予定の本会議場

目　次

2　議会ニュース
3－6　一般質問
7－9　委員会審査のあらまし
10　議会で決めたこと

第４回議会報告会を開催

日時　平成27年５月10日（日）
　　午前10時30分から
場所　市役所別館　３階　中会議室
くわしくは２ページをご覧ください。

編集＝広報委員会　発行＝交野市議会

平成27年度予算を可決

一般会計・５特別会計・水道事業会計の各予算

本会議の動き

第1回議会定例会

今議会は、2月26日の本会議において、会期を3月25日までの28日間と決定し、開会され、はじめに市政運営にあたり、市長が重要施策や予算について表明する市長の施政方針表明が行われました。

次に、「固定資産評価審査委員会委員の選任」に同意し、「交野市行政手続条例の一部を改正する条例」など4議案及び「予算特別委員会の設置」ほか1件の議員提出議案を可決しました。

また、「交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例等の一部を改正する条例」など4議案を総務文教常任委員会に、4特別会計予算など9議案及び「介護保険料に関する請願」を都市環境福祉常任委員会に、「平成27年度交野市一般会計予算」を予算特別委員会にそれぞれ付託しました。（7～9ページ参照）

6、9、10日には、市政全般に対する一般質問（3～6ページ参照）を行いました。

18日には、「交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例の制定」など7議案が追加上程され、うち2議案を可決、3議案を総務文教常任委員会に、2議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

最終日25日には、予算特別委員会及び2常任委員会の各委員長から付託案件の審査報告が行われた後、採決を行い、すべての議案を可決、1件の請願を不採択としました。最後に意見書2本を可決した後、「議員の派遣」並びに、議会運営委員会及び2常任委員会の「所管事務調査」を決定し、今議会は閉会しました。

（会議結果は最終ページをご覧ください。）

■議会トピックス■

■第４回議会報告会を開催

市議会では、開かれた議会を目指し、議会報告会を５月10日（日）に下記のとおり開催いたします。

当日の報告内容につきましては、平成27年度当初予算の審議内容等についての報告並びに質疑（意見交換）を行う予定です。どなたでもご来場いただけますので、ぜひお越しください。当日は、手話通訳及び要約筆記があります。

記

- 日時：平成27年５月10日（日）　午前10時30分から
  （受付時間：午前10時15分）
- 場所：交野市役所　別館３階　中会議室
  ※市役所の駐車場を利用できます。

第３回議会報告会のようす

※平成27年４月３日付けで、坂野光雄議員、松本直高議員が大阪府議会議員選挙に立候補したため、同日付けで、交野市議会議員を辞したものとみなし、議会の議員に欠員が生じましたので、お知らせします。

日本共産党

皿海　ふみ・中上さち子
坂野　光雄

市長のまちづくりの方向性は　ほか

問　施政方針では、市長のまちづくりの方向性が十分伝わってこない。全体として、どのようなまちづくりを考えているのか。

答　これまでの様々な計画を、選択と集中という考え方で進めるとともに、交野の魅力を発展させて、住み続けたいと思っていただけるまちづくりを進めたい。

ゆうゆうバスについて

問　ゆうゆうバスも含めた公共交通のあり方について、庁内の検討会議でいつまでに方向性を出すのか。

答　国の交通基本計画は２０２０年度までの計画であり、国の政策と連携し、できるだけ速やかに方向性を出していきたい。

問　検討結果が出るまで、ゆうゆうバスを3台に復活していただきたい。市長の考えは。

答　財源の確保が大きな課題であり、当面増便することは考えていない。

要望　高齢化社会で、ゆうゆうバスの増便は、高齢者施策の重要なキーポイントとなる。再検討を求める。

学校図書館の充実について

問　今年度、学校司書を配置した活動内容と成果は。

答　４つの小中学校に、週２～３日配置し、学校図書館の整備、読書活動の啓発、授業への支援などを行った。図書館を利用する児童生徒が増加し、授業での図書館の活用も進んだ。

問　保護者からも「図書室が子どもの居場所となり、子どもが喜んで図書室を利用するようになった」との声が出されている。来年度、学校司書を増やす計画は。

答　来年度は、今年度とは別の３校に配置を予定している。

要望　今まで配置されていた学校で司書がいなくなるのは残念である。学校司書を増やし、全校に配置を進めてほしい。

学校図書館

安心で、穏やかに暮らせる高齢者施策について

問　①紙おむつ代の助成②緊急通報装置の改善③高齢者向けのサービス手引書の配布等、市の考えは。

答　①紙おむつ代の助成は困難。②緊急通報装置のアナログ回線以外での利用検討を進める。③全高齢者への配布は予算が必要、周知・活用を検討したい。

防災について

問　防災で未然防止が重要と考える。住宅の耐震化が進まないのはなぜか。

答　25年度末の耐震化率は75％。耐震化が進まないのは費用がかかる事や業者が家に立ち入る事への抵抗などが上げられる。

問　耐震改修費の補助を増額すべきではないか。

答　27年度については最低限命を守る視点で耐震シェルターの適用拡大を図っていきたい。

その他の質問

一、中学卒業まで医療費助成を
一、放課後児童会の開設延長、及び長期休みの対応
一、入学準備のための貸付金について
一、文化財の活用について

会派無所属　兼田　龍洋

施政方針について

問　平成27年度から試行的に目標管理評価型制度を実施されていく中で、地域性に応じた交野市版の企画力、情報発信、クリエイティブな発想も取り入れた独自性のある評価制度の必要性についてお聞きしたい。

答　目標管理評価型制度については、目標設定や評価する段階において評価者と被評価者が面談を行うことから、被評価者から評価者に対して企画的な業務評価を提案することも可能であり、若手職員の情報発信能力やクリエイティブな発想を組織として取り組んでいく仕組みも活用したいと考えております。

要望　一般職員からのボトムアップ式による独自性ある評価制度を期待します。

市民クラブ

久保田　哲
野口　陽輔

施政方針について　ほか

地方版総合戦略の策定について

問　産・官・学とよく言われるが、産・官・学に加えて金・労・言というのがあるようです。金は金融機関、労は労働者、言は報道関係です。広く関係者の意見を聞いていただくという部分でのお考えについてお聞かせください。

答　経済面、また地域を活性化させていく施策などにつきましては、金融機関等とも連携を十分に図りながら実施することが必要です。そのため、検討段階から十分にご意見を賜りながら施策化を行っていくということが非常に重要であると考えます。交野に関わります様々な方々と活発な議論を交わしながら、交野の創生に向けた総合戦略の策定に取り組んでまいりたいと考えております。

目標管理型評価制度について

問　この制度の一番難しいのは、評価する側の能力だと考える。評価者に求められる能力についてどのようにお考えなのか。

答　目標管理型評価制度において、評価者は重要な役割を担っている。評価者に求められる能力は、目標・目的を達成するためのマネジメント能力だけではなく、評価者と評価を受ける者との信頼関係を築く能力である。また、積極的に評価者研修などを開催し、評価者の人材育成にも取り組んでまいりたいと考えております。

交野の地下水100％の
「星のしずく、きらり★」

「交野ブランド」について

問　交野の水、交野の先人の方々が守ってきた、そして内外ともに非常に知名度も高くなってきているおいしい水というように認識をしている。交野の水そのものを一つのブランドとして、大いに活用していくべきではないか。

答　都市間競争がますます厳しく激しくなる中にあって、本市の強みをいかにうまく発信し、知名度アップにつなげていくかが重要である。交野の水というのは、この町の豊かな自然を具体的に示す貴重な地域資源であると考えている。

問　ハイキングの方々が内外から交野の山、そして、川等をハイキングなされている。外から人が集まるような場所に、水飲み場を設置していく。一つの大きなPRになるのではないか。

答　市外の方々に向けてインパクトがあり、市民の皆様にとっては憩いの場になるのではないかという意味であるとするならば、その実現に向けては課題を一つ一つ検討していく。この町の顔づくりという意味でも、そしてまた地域資源をよりアピールするという意味でも、検討していく。

教育行政について

・学校パワーアップ推進事業について
・学校納入金について
・新給食センターの運用について

会派無所属　松本　直高

施政方針について

問　「地方版総合戦略」の策定について。

答　「地方版総合戦略」の背景である「ローカル・アベノミクス」地方創生は、私（市長）の５つの重点施策の視点と同様で方向性も一致しており「交野総合戦略」の策定に、大阪府・国と力を合わせて取組んで参ります。

問　行政経営の視点から、市町村間の水平的連携や大阪府との垂直的連携に関する将来展望ついて。

答　市民サービスの維持・向上と経費削減を図るために、高度で専門性が要求される事務や現場事業における外部資源の活用は、事前点検・検証を行い実施との基本姿勢で臨み、広域連携もスケールメリットが望めるならば取り入れて参ります。

公明党

友井　健二・新　雅人
三浦美代子　ほか

行財政について

市役所本庁

財政の見える化（新地方公会計制度導入）について

問 国より「地方公会計の整備促進」が要請されていますが、市の対応は？

答 平成27年度に、地方公会計制度の根幹である「固定資産台帳の整備」を行う。

問 「固定資産台帳の整備」の目的と必要性は？

答 公共施設等の資産の適切な把握と将来の施設の更新に係る判断材料となる。

問 新公会計制度（複式簿記）の導入により何が良くなるのか？

答 市の現状をより正確に把握でき、より効率的な行政運営に生かされる。

要望 本市においても新公会計制度の導入を要望する。

要望 星田出張所と星田交番、郵便局、星田図書室の星田駅前への集約化を要望する。

ふるさと納税について

要望 市のホームページ上での周知で、すぐに目につくような形での表示を要望する。

マイナンバー制度について

要望 マイナンバー制度のメリット（例、各種証明書のコンビニ交付）等を含む内容等の周知・徹底を要望する。

地方創生について

問 国の26年度予算で地域住民生活等緊急支援のための交付金が設置され、メニューも例示されたが全て実施するのか？

答 全てを実施するのではなく本市としては「プレミアム付商品券の発行」を検討している。

要望 ぜひ利用者が使いやすい方法で実施していただきたい。

浸水対策について

問 河川敷等で耕作や建造物などの不法占用に対する対応は？

答 撤去を求める指導をしている。建造物の場合は、早急な対応が困難ではあるが、根気強く指導を実施し、法に則り、早期の解決を考えている。

子育て支援について

①妊婦健診について。

問 妊婦歯科検診を検診項目に追加してほしいと考えるが？

答 近隣市の状況をふまえ充実に向け検討する。

②子ども医療費について。

問 国の総合戦略を活用し助成対象年齢を引き上げてほしいと考えるが？

答 国の地域創生に係る交付金を精査し拡充に向けた検討をする。

問 もし交付金を活用するなら何月から？

答 最速で７月実施となる。

③放課後児童会について。

問 一斉募集は待機はなかったが、追加申し込みの場合待機がない様お願いしたい。指導員の資質の向上についてはどう考えているか？

答 全員に放課後児童支援員として資格を習得させたいと考えている。

水道事業（給水）について

問 新浄水場が出来て２年半。一日も早く自己水を８割にもってきてほしいが？

答 29年度末までの私市ポンプ場の完成と同時になる。

要望 送水ポンプの能力の問題なので理解するが、交野市の水道は「８割が地下水」と他市に誇れる様、一刻も早い完成を期待する。

会派無所属　坂本　顕

施政方針について

問 市の施設機能を集約し、必要に応じて統廃合など、有効活用が求められているとあるがその内容は？

答 人口減少社会となった現在、公共施設全体のあり方を検討すべきと考え、公共施設等総合管理計画を策定し、統廃合や新機能付加について方向性を示したい。

問 高齢社会の進展を見据え、関係機関との連携を強化する、とはどのような連携か？

答 23年に「交野市医療介護連携会」を発足、25年には多職種間でのさらなる連携を深め、医療・介護関係者などで構成する多職種連携委員会を組織した。27年度は構成メンバーを拡充して連携を強化したい。

交星クラブ

浅田　耕一
前波　艶子

施政方針について ―病児保育について― ほか

問 病児保育の開設は様々な場面において、種々要望が出されてきたところである。市としても、病児保育への取り組みは、子育て施策の中でも、特に重要なものと位置付けられ、開設に向け前向きな検討がなされてきた。そうした取組みが実を結び、ようやく、本年秋に開設されるまでに至ったところであるが、現在の状況と開設に当たっての市の役割はどのようなものになるのか。

答 病児保育については、本市の子育て施策の指針である次世代育成支援行動計画にも重要な事業の1つとして位置付けており、今回、交野病院の協力のもと、病児保育が開設されることについては、子育て支援に対する拡充という点からも、非常に心強く感じている。ただ、開設の時期については、交野病院が本年5月に開院されることからも、同時期の開設が強く求められているところであるが、病院側として病児保育の取組みに関しては初めてのことであり、受け入れ体制や実施するうえでのマニュアル整備などに慎重を期することからも、開院してから一定の時間を要するものと聞き及んでいる。現在、病児保育の受け入れ人数や料金など運営面に関する基本的な事項について、本市と交野病院との間で調整を行っており、開設に向けて着実にその歩みを進めている。なお、市としては、補助制度を活用しながら、病児保育を開設する交野病院に対しては、財政的な支援を行いたいと考えている。

意見 本市において、かねてからの懸案事項であった病児保育の開設が、ようやく実現されることについては、うれしく思う。ただ、子育て支援を考える上では、市内に1か所の病児保育の開設ではなく、複数あることがやはり理想と考えることからも、今後は、そうした拡充に向けた取組みについて検討を願う。

新築された交野病院

施政方針について ―職員の人材育成について―

問 市長の施政方針に、人材育成を目的とした目標管理型評価制度を試行的に導入するとあるが、この制度はどのようなものか。

答 効率的・効果的な行財政運営を行う上で、「人材」は特に重要な要素であり、この「人材」を育成するためにも、公平な評価制度の導入が必要と考えている。この目標管理型評価制度とは、職員それぞれが職務に対する目標を設定し、その目標を達成するための取組みや達成度を評価者が評価するものであり、個々の職員の自発的な能力開発等を促すことにより、人材育成へとつながるものと考えている。

その他の質問

施政方針について（地方版総合戦略について、公共施設等総合管理計画について、相談業務について、交野市産業振興基本計画について、消防通信指令業務の共同運用について、不明水対策について）

会派無所属　片岡　弘子

安全・安心なまちづくりについて

問 こどもたちが、安全に安心して遊具を使用できるように都市公園などの遊具の更新が進められておりますが、今後の計画をお聞かせ下さい。

答 劣化度合い、特に安全面で確保できてないと診断されたものから更新を実施していく計画と考えている。

要望 遊具の更新など、公園の維持管理には、過去からみてもかなり大きな予算が使われていると思われます。公園に限ったことではございませんが、交野市全体を見ましても、南側の地域には、教育・子育てのできる施設が充実していないように思います。市・地域全体のバランスへも配慮した整備を進めていただきますようあわせてお願いいたします。

予算特別委員会（3月12、13、16、17日）

平成27年度一般会計予算を可決

議案第13号　一般会計予算

▼概要　一般会計予算は、歳入歳出ともに244億８５００万７千円で、前年度と比較して231億３９７９万４千円の増額。

▼結果　可決（賛成多数）

▼主な質疑

「Aブロック」

（市有財産利活用推進室・総務部・地域社会部・会計室・議会事務局・行政委員会事務局の予算）

問　大阪府域地方税徴収機構は任意参加の団体だが、なぜ、市として参加するとしたのか。また、当機構によっても差し押さえはできるのか。

答　参加目的は、機構の目的でもある滞納圧縮と徴収技法習得といった人材育成である。滞納処分等の権限はなく、市長等によって行われる。

問　交野おりひめ大学補助金は地域活性化を目指していると思うが、産業振興基本計画推進事業一括補助金等も活性化を目的にしている部分があり、目的が共通であれば、いくつも補助金があるよりも整理した方がわかりやすいのではないか。

答　各種施策で当初の目的や意図、そのプロセスについてもう少し整理する必要がある。今後、整理をしていきたい。

「Bブロック」

（市民部・幼稚園を除く健やか部・福祉部の予算）

問　昨年10月から、ゆうゆうセンターでの一時預かり保育が実施され、利用状況は増加傾向、市民からも喜ばれているが、保育士の配置状況は。

答　常時、２名を配置している。

要望　常時という体制を取っているのであれば、利用者を増やすようＰＲはもとより、子育て世帯に３回程度の無料利用券を配布する等利用促進につなげるなどの施策に取り組んでいただきたい。

一時預かり保育（星の子ルーム）

問　生活保護受給者の内、無年金の方の人数とその対応は。

答　本年２月現在で253名。昨年10月から国の補助を受け、年金調査員１名を配置。内57名に対する調査が終了した。その結果６名の受給権が確認でき、現在、内４名が受給開始となっている。

「Cブロック」

（環境部・都市整備部・消防本部・農業委員会事務局の予算）

問　本市の木造住宅耐震化補助制度は、耐震改修費用の７割の補助で限度額が40万円であるが、他市では限度額を70万円としているところも見受けられる。府では、平成26及び27年度限定で補助額を30万円上積みしたと聞いているが、この制度を利用しないのか。

答　平成26年度、この制度を利用すると、同年度内で、申請時期により補助額に格差が生じ、また、27年度、30万円上積みした場合、翌年度以降、府の制度終了に伴い補助額が減額となり、制度利用者の減少が想定でき府の制度利用を見送った。

問　地域から要請があった場合、その都度土嚢の受け渡しの対応を行っているとのことだが、土嚢保管場所を各地域に設置している市もある。本市においても土嚢保管場所を設置できないのか。

答　保管場所はある程度の広さ、また、紫外線が当たると袋が劣化するため、倉庫等が必要であり、土嚢の常備は難しい。

要望　災害時に、即座に対応できる対策を検討いただきたい。

「Dブロック」

（幼稚園にかかる健やか部・教育総務室・学校教育部・生涯学習推進部の予算）

問　新給食センター稼働に向け、配送業務の委託を行うとのことであるが、その現状は。また、債務負担の限度額が２億４５００万円、期間が34年度までとなっているが、長期契約とした理由は。

答　給食の配送については、現在３台の配送車にそれぞれ職員２名が乗車し、１校毎に配送を行っている。新給食センターにおいては、立地条件を考慮し、配送車を４台に増やす予定である。また、債務負担の年数については、配送車両を契約業者が調達することから、リース代等を考慮したものである。

問　部活動等外部指導者謝礼とあるが、現在、市内中学校におけるクラブ数が少なく感じられる。体育協会の加盟団体等と連携を図り

クラブ数を増やす考えは。

答 現在、技術的に指導が困難とされるクラブに対し、地域の方を中心に指導にあたっていただいている。生徒全員が希望のクラブに入部できることが理想ではあるが、教職員数によりクラブ数が限られている。外部団体との連携は、子どもの指導という観点から連携が難しい一面もあり、現時点では実施にいたっていない。

「総　括」

（予算全般に関する質問）

問 各担当課において多くのパブリックコメントが行われているが、市民からの意見が0件のものも見受けられる。この現状を踏まえ、市としてどのような対策を行っていくのか。

答 規則に基づき原則30日間のパブリックコメントを行っており、市の広報やホームページ上において周知している。資料については、基本的に閲覧のみ、配布は行っていない。今後、各市状況も踏まえ資料配布等についても検討し、より広く市民の方の意見を反映できるよう努めたい。

問 来年度から総務室が廃止されるとのことだが、総務室が担っていた事務はどこが担い、人員配置はどのようになるのか。

答 総務室は、主に部内部間の調整やルーチン業務の集約、突発的な事象の処理を行ってきた。今後、部内部間の調整は、担当部の参事・次長を中心に、ルーチン業務は部内の課の担当が行う。総務室廃止に際し、総務室に配置されていた人員を振り分けることとなるが、仕事量を精査し適切な人員配置を行う。

「討　論」

反対討論 平成27年度予算では、民間保育所増改築による保育所定員増、病児保育開設、放課後児童会時間延長など、市民ニーズに応えた前進がいくつかの施策で見られることは評価する。しかし、市として市民の暮らしを応援する施策の充実を進めようという今後の方向性が、予算編成や、予算委員会・一般質問の質疑の中では示されていなかった。市の総合計画に位置付けられた「市長戦略」として、市長のまちづくりのビジョンを市民に示すことを要望し、反対する。

「附帯決議」

▼**概要** 効率的かつ効果的な財政運営を目指すうえで欠かすことのできない視点として、おりひめ大学への補助金はじめ各種団体等への事業の補助の実施についても事業の進捗管理を適正に行い公費負担のあり方も含めて検証することなど指摘があった。

総務文教常任委員会（3月19日）

交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例等の一部を改正する条例など7議案を可決

議案第5号　交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例等の一部を改正する条例

▼**概要** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第9号　工事請負契約の締結（私市幹線汚水貯留槽設置工事）

▼**概要** 郡津処理場跡地内に設置している現在の汚水貯留槽が老朽化し、耐震性の問題もあることから、松塚公園の地下に汚水貯留槽を新設する。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第11号　平成26年度交野市一般会計補正予算（第7号）

▼**概要** 歳入歳出それぞれ8億8049万8千円の増額補正並びに債務負担行為の追加及び地方債の追加・変更。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第17号　平成27年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算

▼**概要** 3億737万4千円。前年度比較で505万8千円減。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第20号　交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例の制定

▼**概要** 交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、附属機関を設置する。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第25号　平成26年度交野市一般会計補正予算（第8号）

▼**概要** 歳入歳出それぞれ17億6580万7千円の増額補正並びに継続費、繰越明許費及び地方債の補正。

▼**結果** 可決（満場一致）

議案第26号　平成27年度交野市一般会計補正予算（第1号）

▼**概要** 歳入歳出それぞれ16億1500万円の減額補正並びに地方債の補正。

▼**結果** 可決（満場一致）

都市環境福祉常任委員会（3月19日）

4特別会計予算など11議案を可決 介護保険料に関する請願を不採択

議案第2号　交野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

▼概要　第3次一括法の施行に伴い、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める。

▼結果　可決（満場一致）

議案第3号　交野市地域包括支援センターの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

▼概要　第3次一括法の施行に伴い、交野市地域包括支援センターの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める。

▼結果　可決（満場一致）

議案第7号　交野市介護保険条例の一部を改正する条例

▼概要　介護保険法等の一部改正に伴い、第1号被保険者の保険料率を改定し、また、低所得者の保険料の軽減強化を図るとともに、介護予防・日常生活支援総合事業等の実施について経過措置を講じる。

▼結果　可決（賛成多数）

議案第8号　消防通信指令に関する事務の委託

▼概要　本市における消防行政の効率化・合理化を目的とし、消防通信指令に関する事務の管理及び執行を枚方寝屋川消防組合に委託する。

▼結果　可決（満場一致）

議案第14号　平成27年度交野市国民健康保険特別会計予算

▼概要　98億2865万7千円。前年度比較で14億4396万2千円増。

▼結果　可決（賛成多数）

議案第15号　平成27年度交野市下水道事業特別会計予算

▼概要　19億3408万9千円。前年度比較で3825万6千円増。

▼結果　可決（満場一致）

議案第16号　平成27年度交野市介護保険特別会計予算

▼概要　50億9245万円。前年度比較で3063万3千円減。

▼結果　可決（賛成多数）

議案第18号　平成27年度交野市後期高齢者医療特別会計予算

▼概要　10億6309万6千円。前年度比較で647万8千円減。

▼結果　可決（賛成多数）

議案第19号　平成27年度交野市水道事業会計予算

▼概要　28億4344万9千円。前年度比較で4億1473万2千円増。

▼結果　可決（満場一致）

議案第23号　交野市こどもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

▼概要　こども医療費の助成について、入院・通院に係る助成対象年齢を引き上げる。

▼結果　可決（満場一致）

議案第24号　交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

▼概要　国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

▼結果　可決（満場一致）

請願第1号　介護保険料に関する請願

▼概要　市に対し、保険料引き上げ中止、及び、市として国に対し、当初案の保険料軽減を行うよう、強く働きかけるよう請願する。

▼結果　不採択（賛成少数）

賛否の分かれた案件の議決結果	賛否の状況（○賛成　×反対）													
	無所属				共産			公明			市民		交星	
案　件　名	松本	兼田	坂本	片岡	皿海	中上	坂野	友井	新	三浦	久保田	野口	浅田	前波
（議案第７号）交野市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（議案第13号）平成27年度交野市一般会計予算について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（議案第14号）平成27年度交野市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（議案第16号）平成27年度交野市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（議案第18号）平成27年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（請願第１号）介護保険料に関する請願について	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	※1

※無所属は会派無所属、共産は日本共産党、公明は公明党、市民は市民クラブ、交星は交星クラブです。
※1 前波議員は議長として立場上、採決には参加していません。

平成27年第１回議会定例会（２月26日～３月25日）

	案　件　名	本会議結果
議１号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意◎
議２号	交野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可決◎
議３号	交野市地域包括支援センターの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決◎
議４号	交野市行政手続条例の一部を改正する条例について	可決◎
議５号	交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例等の一部を改正する条例について	可決◎
議６号	交野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決◎
議７号	交野市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決○
議８号	消防通信指令に関する事務の委託について	可決◎
議９号	工事請負契約の締結について（私市幹線汚水貯留槽設置工事）	可決◎
議10号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第６号）について	可決◎
議11号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第７号）について	可決◎
議12号	平成26年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第４号）について	可決◎
議13号	平成27年度交野市一般会計予算について	可決○
議14号	平成27年度交野市国民健康保険特別会計予算について	可決○
議15号	平成27年度交野市下水道事業特別会計予算について	可決◎
議16号	平成27年度交野市介護保険特別会計予算について	可決○
議17号	平成27年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算について	可決◎
議18号	平成27年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	可決○
議19号	平成27年度交野市水道事業会計予算について	可決◎
議20号	交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例の制定について	可決◎
議21号	交野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議22号	交野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議23号	交野市こどもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議24号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議25号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第８号）について	可決◎
議26号	平成27年度交野市一般会計補正予算（第１号）について	可決◎
請１号	介護保険料に関する請願について	不採択
議員１号	予算特別委員会の設置について	可決◎
議員２号	交野市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決◎
議員３号	「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書の提出について	可決◎
議員４号	ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書の提出について	可決◎
	議員の派遣について	決定
	議会運営委員会の所管事務調査について	決定
	常任委員会の所管事務調査について	決定

※議は議案、請は請願、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しください
～平成27年第２回議会定例会の予定～

６月８日（月）　本会議初日（議案上程）
６月11日（木）　常任委員会
６月22日（月）～24日（水）　本会議（一般質問）
６月26日（金）　本会議最終日（委員長報告・採決）

■かたの市議会だより　　編集＝広報委員会　　発行＝交野市議会
〒576-8501　大阪府交野市私部１丁目１番１号　　TEL072-892-0121　FAX072-893-1130
ホームページ　http://www.city.katano.osaka.jp/　メールアドレス　gikai@city.katano.osaka.jp